



探していたつながりを。欲しかった支えを。

## 患者サポートプログラム「ONWARD」開始

- 医療ニーズを満たすコンテンツに加え、経済ニーズや社会ニーズにも応える情報を提供
- LINE をベースに 24 時間対応のチャットや電話相談など様々なサービスにアクセスが可能
- 看護師資格を持つ担当制コンシェルジュによる対応

ユーシービージャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：菊池 加奈子）は、重症筋無力症（MG）の患者さんが自分らしく過ごすためのサポートを目的としたプログラム「ONWARD（オンワード）」を開設し、一部サービスを開始しましたのでお知らせします。

MG は希少性の慢性的な自己免疫疾患で、国の指定難病です。症状の変動を予測することが難しく、また、治療の負担も大きいことから、社会的・経済的活動において不利益を受けている患者さんも少なくありません。ONWARD は、グローバル UCB で開発した患者サポートプログラムで、「前へ、前進する」という意味の英語からネーミングされました。MG という希少疾患とともに生きる患者さんが、人生の歩みを進めていけるよう、診断から治療の継続まで常に寄り添うサポートプログラムです。

今回開始したサポートプログラムには、11月28日に発売された全身型重症筋無力症治療薬の「リスティゴ<sup>®</sup>皮下注 280mg」〔一般名：ロザリキシズマブ（遺伝子組換え）〕を使用する患者さんに向けて、ウェブサイト上での薬剤や治療関連の情報提供、LINE アプリをベースとした症状スコアの記録、患者さん一人ひとりに対する専任のコンシェルジュによるサポート、24時間365日対応の相談受付などが含まれます。

サポートプログラムは全て無料でご利用いただけますが、LINE アプリをベースとしたサポートには登録が必要です\*。また、本プログラムは、診断・治療またはそれに準ずる医療行為を目的としたものではありません。

ニューロロジー事業部希少疾患領域フランチャイズ統括 伊藤幸司は、「MG の患者さんは、多くが生涯治療を続けなければなりません。そのため、患者さんの医療ニーズを満たすのみならず、経済的なニーズや社会的なニーズをくみ取り、一人ひとりの患者さんに寄り添っていくようなプログラムになることを期待しています」と述べています。

\*登録情報は弊社の業務委託先が厳重に管理し、個人が特定できる情報に弊社がアクセスすることはありません。

## LINE アプリをベースとするコンテンツの一例

機能	特徴	患者さんへのベネフィット（ニーズ）
 <b>チャット相談<sup>注1)</sup></b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINEのチャット機能を用いた相談</li> <li>コンシェルジュが返答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 知りたい内容が既に決まっているとき</li> <li>✓ ワンポイントで気軽に確認したいとき</li> </ul>
 <b>臨床心理士への相談<sup>注1)</sup></b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約制の相談窓口</li> <li>電話、オンライン面談に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 深い傾聴と共感により、心理的な負担を軽減したいとき</li> <li>✓ 心理カウンセリングの技法により、自身の状況を一緒に把握したいとき</li> </ul>
 <b>電話相談<sup>注1)</sup></b> <b>コンテンツサポート<sup>注1)</sup></b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専任の看護師が継続的にサポート</li> <li>電話、オンライン面談に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 定期的、継続的なサポートを受けたいとき</li> <li>✓ とにかく困っていて誰かに相談したいとき</li> <li>✓ 自分の要望に沿った患者さん向け資材、サポートを探しているとき</li> </ul>
 <b>治療ゴール設定</b> <b>リマインダー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>治療だけでなく、目指したい日常生活に向けての治療ゴール設定をサポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ サポートを受けながら、時間をかけて、現在のお困りごとの振り返りから、目指したい日常生活の検討をしたいとき</li> </ul>
 <b>治療・症状記録の</b> <b>グラフ化<sup>注2, 3)</sup></b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MG-ADL、MG-QOL-15rのスコア記録・グラフ化</li> <li>記録は医療従事者が登録制のWebサイトで確認可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ サポートを受けながら、継続的に記録をつけたいとき</li> <li>✓ 治療内容だけでなく、症状も把握したいとき</li> </ul>

注 1) 傾聴を主に公開情報ベースに回答します。相談内容に関する PV 報告は UCB ルールで行われます。

注 2) 利用者（患者さん）の同意が得られた場合に限り、医療従事者に情報が共有されます。

注 3) 共有された情報は、登録制の医療従事者専用のポータルサイトにてご確認いただけます。

患者さん向けウェブサイト (<https://ucbcares.jp/patients/gmg/ja>)

疾患情報や公的支援制度の紹介、日常生活にお役立ただけるコンテンツなど、リスティーゴで治療をされる患者さんに限らず、幅広くご利用いただけるウェブサイトです。

## 重症筋無力症 (MG) および 全身型重症筋無力症 (gMG) について

MG は、有病率が全世界で 100 万人につき 100 人から 350 人と言われる希少性の自己免疫疾患です<sup>1</sup>。国内患者数は 29,210 人と推定されています<sup>2</sup>。MG の発症初期は眼に症状が現れることが多く、まぶたが下がる眼瞼下垂や物が二重に見える複視などの症状がみられます。MG を発症した患者さんのうち約 85%では、眼筋症状にとどまらず、全身の筋肉群が侵されます<sup>3</sup>。このような状態が gMG と呼ばれています。gMG では、嚥下困難や咀嚼困難、発語困難などを発症することもあり、中には、生命を脅かすような呼吸筋の重度の筋力低下を引き起こすケースもあります。MG/gMG では、病原性自己抗体が、シナプス後膜上の特定のタンパク質を標的とすることにより、神経筋接合部におけるシナプス伝達を阻害すると考えられています。これにより、神経が筋肉に連絡する方法が妨げられることにより、筋肉が収縮しにくくなります。

## UCB (ユーシービー) について

UCB (<https://www.ucb.com/>) は、ベルギーのブリュッセルに本社を置くグローバルバイオフาร์มで、ニューロロジーや免疫・炎症領域の重篤な疾患と共に生きる患者さんのより良い生活の実現を目指して、革新的な医薬品の研究開発ならびにソリューションの提供に力を注いでいます。約 40 カ国に拠点を置き、従業員数は 8,700 名あまりを擁しており、2022 年の収益は 55 億ユーロでした。UCB はユーロネクスト・ブリュッセル証券市場に上場しています。

ユーシービージャパン株式会社 (<https://www.ucbjapan.com>) は UCB の日本法人として 1988 年に設立され、抗てんかん薬「イーケブラ®」、「ビムパット®」、関節リウマチ治療薬および乾癬治療薬「シムジア®」、新規機序を持つ乾癬治療薬「ビンゼレックス®」を中心に医薬品事業を展開しています。患者さんにとっての価値を創造するバイオフาร์มリーダーとして、従来の治療で十分な改善が得られなかった患者さんに、新たな治療の選択肢を提供することを目指しています。

## 出典

1 Punga AR, et al. Epidemiology, diagnostics, and biomarkers of autoimmune neuromuscular junction disorders. *Lancet Neurol.* 2022;21(2):176-88.

2 Yoshikawa Hiroaki, Adachi Yumi, Nakamura Yosikazu et al.; Two-step nationwide epidemiological survey of myasthenia gravis in Japan 2018; *PLoS ONE*; 2022; 17; 9: e0274161

3 Murai H, Yamashita N, Watanabe M, et al. Characteristics of myasthenia gravis according to onset-age: Japanese nationwide survey. *J Neurol Sci* 2011; 305: 97-102

報道関係お問合せ:

ユーシービージャパン株式会社 広報

03-6864-7650